

# 牧草と園藝



最も経済的で手軽に地力増進できる

# 果樹園の草生栽培 (I)

千葉研究農場 兼子達夫

## 草生栽培の有利点

- ① 土壌侵蝕防止 (草根による土壌の保持、流去水の速度低減、透水性の増大)
- ② 地力の維持増進 (有機物増加、団粒構造の発達、まめ科牧草根粒菌による空中チッ素の固定)
- ③ 地温の調節 (地温の上昇と低下を緩和)
- ④ 果実の着色および品質向上 (着色、糖度、成熟を促進し市場性向上)
- ⑤ 果実落下の損傷防止 (成熟時)
- ⑥ 大型機械運行上の便宜 (スリップ防止など)
- ⑦ 肥料分の溶脱および土壌酸性化の抑制

(註) 雑草草生は牧草草生に比較し、被覆度、採草量、土壌改良効果、悪性雑草の混入など、積極的な効果は期待できません。

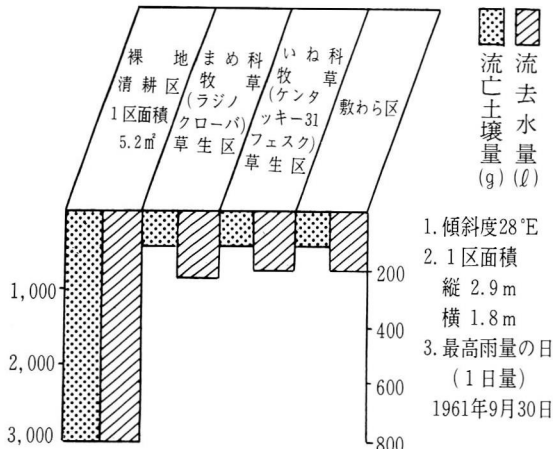
## 〈1〉 草生栽培で土壌保全

### ■ 降雨による侵蝕防止と草生栽培

ミカン、ブドウ、リンゴなど果樹園は傾斜地が多く、裸地栽培では降雨のたびに土壌が流亡します。肥沃で大切な表土を流亡しては、地力は益々減耗します。

牧草を草生栽培している園地から流れ去る雨水は清らかで濁っていません。つまり土壌侵蝕のないことを示しています。牧草は地表面を被覆して流亡を防ぎます。

ブドウ畑の土壌流亡量と流去水量 (四国農業試験場)

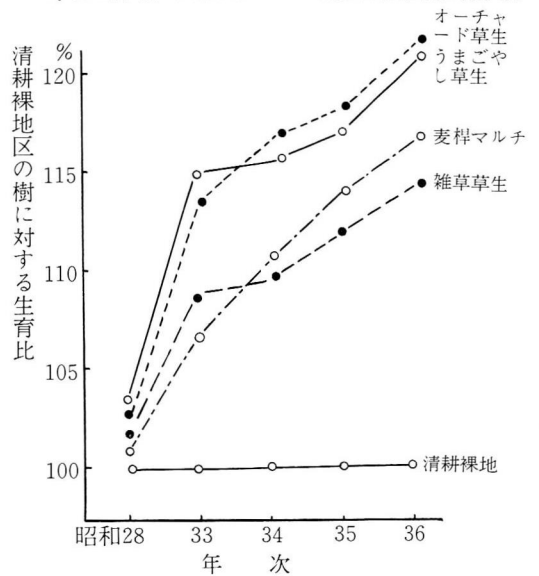


## 〈2〉 草生栽培で果樹の生育向上

草生栽培によって耕土に有機物が増加し、団粒構造が発達して、果樹の根の伸長が良くなり、新梢の伸び、幹径の肥大、樹冠の増大等の効果は年数を経るにしたがい顕著となります。

### ■ 温州みかんの生育に及ぼす草生栽培の効果

(愛媛県果樹試験場)



### ■ モモ実生の生長 (1年間、1樹当り)

(農林省園芸試験場)

項目	区	清耕	敷わら	草生栽培
新梢総伸長量 (cm)		522 (100)	1712 (328)	2424 (464)
地上部重量 (g)		89 (100)	317 (356)	436 (490)
地下部重量 (g)		91 (100)	289 (318)	364 (400)